



国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

| | | | | | |
|-----|------------------------------------|-----|------------|---------|--------------|
| 創立 | 1964年3月2日 | 例会日 | 毎金曜日12時30分 | 例会場 | オークラ千葉ホテル |
| 会長 | 榊原 行夫 | 幹事 | 小林 透 | 雑誌会報委員長 | 瀬谷 研一 |
| 事務局 | 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 | | | TEL | 043-245-3204 |

2011年5月第2週号

第2312回



平成23年5月20日(金) 点鐘12:30 (晴れ)

- ◆ロータリーソング 『我らの生業』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー／
(株)ASPE (千葉ジェッツ) 代表取締役 梶原 健様
- (株)ASPE 取締役副会長 岩崎 肇様(佐倉中央RC会長)
- 地区職業奉仕委員会クラブ研修委員長／海寶寛一様
- 総合警備保障(株)千葉支社 大木健太郎様 小野祐介様
- 2012-13年度ロータリー財団国際親善奨学生／岡田 茜さん

■ 会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

小野会員が手術、入院されています。経過は順調のようです。お見舞いに行ってまいります。

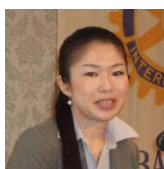
■ ご挨拶

地区職業奉仕委員会クラブ研修委員長／海寶 寛一様



皆さんこんにちは。貴重な時間を割いて頂き、有難うございます。昨年9月24日に開催された「第3分区Bロータリー情報研修会」では、大変お世話になりました。水野ガバナー補佐の指示の下、会長、幹事さんはじめクラブ全体で準備に取り組んで下さったことは十分承知しております。感謝申し上げます。有難うございました。

2012-13年度ロータリー財団国際親善奨学生／岡田 茜さん



5月8日の選考会に参加し、晴れて候補生となることが出来ました。カウンセラーの寺澤様と地区委員の吉田様にアドバイスを頂き、今回、合格出来たのではないかと考えております。これから留学

するまで、皆様にいろいろご指導戴くことがあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。

■ ライラ参加者終了証伝達

大木 健太郎さん

この度は、ライラの研修を通してグループで話し合っ問題点を解決していくというような貴重な経験をさせて頂き、有難うございました。今後、仕事について問題点があったら会社の人と話し合っ良い方向に解決して行けるように努めて行きたいと思ひます。有難うございました。

小野 祐介さん

私は、昨年4月に函館市から、こちらへ就職しました。知り合いや友達が少ない状況でしたが、今回の研修に参加させて頂き、自分が一番得たものは、大勢の人と知り合えたことです。これから、この人達の関わりを仕事やプライベートで生かして、充実した社会生活を送りたいと思ひます。有難うございました。

■ 幹事報告 小林 透幹事

次週(27日)の例会は、「職場訪問及び親睦旅行」へ変更しますのでお間違えのないようお願い致します。

■ ニコニコボックス報告

☆海寶 勘一様

ロータリー情報研究会では大変お世話になり、誠に有難うございました。

☆植松 省自会員

梶原様、本日の卓話、宜しくお願い申し上げます。

☆小林 透会員

梶原様、卓話楽しみにしています。みんなで千葉ジェッツをサポートしましょう！

岡田さん、合格おめでとうござひます。

☆伊藤 和夫会員

ゴルフ同好会でニアピンを頂きました。成績は3位でした。新緑の中、清々しいゴルフを楽しみました。

☆大野 良亮会員

6月7日からの銀座鳩居堂画廊での篆刻展のご案内を本日、テーブルに置かせて頂きました。

☆鮫島 永一会員

ゴルフ同好会に参加しました。五月晴れの好天に恵まれ、久しぶりに後半30台で回りました。気持ち良い一

日を過ごさせて頂きました。

☆北原 俊彦会員

昨日、ゴルフ同好会のコンペで優勝してしまいました。この一年、不調でスコアを大幅に落としていましたが、何とか復帰したように感じています。尚、来週の親睦旅行、宜しくお願いします。

| | | | |
|-------------|----------|----|-----------|
| 本日のニコニコボックス | 13,000 円 | 累計 | 583,000 円 |
| 金の箱 | 540 円 | 累計 | 30,967 円 |

■ 出席報告 (会員数39名)

| | | | |
|--------|--------|--------|------------|
| 出席者数29 | 欠席者数10 | ビジター 6 | 修正出席率 次回にて |
|--------|--------|--------|------------|

千葉市内例会変更のご案内

メンバーシップにご利用下さい

| 千葉RC | 月 | — | 三井ガーデンホテル千葉 |
|--------|---|---------|----------------|
| 千葉西RC | 火 | 6/28 | センシティタワー「東天紅」 |
| 千葉幕張RC | 火 | 6/28 | アパホテル&リゾート東京ベイ |
| 新千葉RC | 水 | 6/15・29 | 京成ホテルミラマーレ |
| 千葉北RC | 水 | 6/8 | ホテルポートプラザちば |
| 千葉中央RC | 木 | 6/30 | 三井ガーデンホテル千葉 |
| 千葉港RC | 木 | 6/23・30 | 京成ホテルミラマーレ |

★ 本日の卓話 ★

演 題… 『千葉県初、プロバスケットボールチーム
設立の想いと今後の夢』

卓話者… (株)ASPE (千葉ジェッツ)
代表取締役 梶原 健様



皆さん、はじめまして。株式会社 ASPE、プロバスケットボールチームの名前は「千葉ジェッツ」と申しますが、代表を務めます梶原と申します。本日は貴重なお時間をいただき、誠に有難うございます。今回、プロバスケットチームを設立した想いと、我々が参戦するBJリーグ、またはチームについて、そしてそのチームが成し遂げたい夢についてお話をさせていただきたいと思っております。

まずは自己紹介させていただきます。私は 1980 年生まれの今年で 31 歳になります。俗にいう「松坂世代」で、バスケットボールでいえば NBA に行った田伏勇太君と同級生になります。千葉県船橋市出身で小学生の頃からバスケットボールをやっており、卒業文集の将来の夢にも「プロバスケットボール選手になること。」と書きました。その夢の実現へ向けて、高校は優秀な指導者がいるという船橋西高校に進学しました。ところが、私の入学と同時にその先生が転勤してしまうという波乱万丈なことが起きましたが、とにかくバスケットボールを続け、大学進学時にもいくつかお声掛けをいただきました。私はバスケ

トボールで飯を食って行きたいという思いがありましたので、前向きに考えていましたが、ただプレーをするだけでなく周りの環境について調べたところ、実業団のバスケットボールチームがどんどん潰れて行くのを見て「バスケットボールでは飯は食えないんだ。」と気付きました。真剣に悩みましたが、一旦バスケットボールという道を諦めました。ただ、私と同様、バスケットボールをずっとやっていて、それで飯を食って行きたいと思っている子どもたちは沢山いるだろうと思い、高校 3 年生の秋に自分がその受け皿となるプロバスケットボールチームを作りたいと思いました。

私はもともと文系だったのですが、大学は理系に進学しました。プロチームを作るにあたり、経営学やスポーツを専門に学んだりするのですが、ちょうどその時期は J リーグが絶頂のときで「地域密着」というキーワードが謳われていたときでした。では、地域活性化の仕組みや町が出来上がって行く様子を学びたいと思い、日本大学の理工学部建築学科で都市計画を学びました。それから大学院に進学し、そこで観光を切り口とした町起こしの戦略の研究をしました。その研究を実際に「かたち」にしたいという思いで新日鉄土地開発という会社で不動産デベロッパーを 5 年ほどやっていました。ちょうどその頃、千葉県では国体開催がありスポーツの気運が高まっていたことやバスケットボールも盛り上がりを見せ始めていたところだったので、この際プロチームを作ろうと決心し、BJ リーグに一人で相談に行き色々な方をご紹介いただきました。そして、今回プロチームを設立するに至ったというところです。

この BJ リーグですが、2005 年 11 月に誕生しました。今年で 6 シーズン目になりますが、現在 16 チームが参加しています。千葉は昨シーズンに立ち上げ、来シーズン、今年の 10 月からこの BJ リーグに参加します。同時に参加するチームとして岩手、横浜、長野が加わり、合計 20 チームになります。BJ リーグは 3 つの理念を掲げています。即ち、

1. 技術・私生活ともに子供たちの手本となるようなプロフェッショナルであること
2. 子供達に夢と感動を与えるスポーツ文化を創造するスポーツエンターテイメントであること
3. 国際性(グローバル)を意識しながらも地域性(ローカル)を重視する地域密着型のグローバル&コミュニティを標榜すること

千葉のチームは地域名称を冠するところから「千葉ジェッツ」となりました。また、BJ リーグの特徴は 4 つあり、

1. 常にファン(ブースター)を第一に目を向けた「ブースター主義」
2. J リーグ 10~20 億、プロ野球 100 億といわれる運営費は 2~3 億の「コンパクト経営」
3. サラリーキャップ制や完全ウェーバー制ドラフト採用などによる「実力伯仲リーグ」
4. 試合会場は「既存公共施設の有効利用」

といったもので、人口の少ない地方都市でも経営が成り立つ仕組みです。

BJリーグの観客は男女比率でいうとほぼ半々で、20～30代のファミリー層をターゲットとしており、所謂「団塊ジュニア世代」がメインになっています。特徴的なのはバスケットをしていない人の割合が40%も占めており、ただバスケットを観るだけでなくショーやエンターテインメントも楽しむファンが多く来ています。

我々の千葉ジェッツですが、昨年8月26日にBJリーグ参入の許可が下り、今年の10月より参戦となります。チーム名は一般公募から5つの候補に絞り、投票数3,148票の中から一番得票数が多かった「千葉ジェッツ」に決まりました。その由来は、県内に成田国際空港がありその象徴ともいえるジェット機に、子供達の夢や県民の希望を載せて世界に飛び立てるチームを目指すというところから来ています。県内では既存のプロチーム、野球の千葉ロッテマリーンズ、サッカーでは柏レイソルとジェフユナイテッド千葉に続く4つ目の球団ということになりますが、バスケットボールのシーズンは、ちょうど野球とサッカーがオフシーズンとなる10～5月がメインのシーズンとなりますので、千葉ではオールシーズンでプロの試合が観れることとなります。試合会場は当面、千葉市から東京に近いところをコアエリアと考えており、中でも船橋アリーナでは全52試合中26試合のホームゲームのうち13試合を開催する予定です。その他、市川市塩浜体育館、浦安市総合体育館、そして八千代市民体育館が会場となります。千葉市ではポートアリーナでの開催を計画していましたが、今シーズンは取れずに終わってしまいました。

さて、プロスポーツチームの運営の理想は、「競技面」で強いチームであること、「経営面」で潤沢な資金があること、そして「文化面」で地域に愛されるチームであることの3点がバランスよく均衡していることといわれますが、今回の千葉ジェッツの立ち上げのタイミングでそれら3つを満たすことはなかなか難しいので、どこに力点を置かかということを考えました。それを収入の側面に置きますと、そのポイントは5段階になります。最初に株主による出資、2つ目はブースタークラブ(ファンクラブ)、そのファンの方々がチケットを購入してくれる。それにより会場が賑わうと新たなスポンサーがついたり、さらにファンクラブが拡大しグッズや飲食の売上も伸びるという構図です。従って、収益の核になるのがチケットの販売で会場を賑わすこと、これが今回の事業の根幹をなすところ。即ち、コアファンの獲得により「愛されるチーム」になることが最優先されるべきことだと考えています。それにより資金面でも潤いを増し、良い選手が獲得出来、良い環境が整備される、そしてまたより多くのファンが獲得できる、といったスパイラルを目指して行きたいと思っています。

千葉のバスケットボールに対するポテンシャルについて触れますと、競技人口は全国レベルから見ると多く、特にミニバスケットでは日本一の競技人口を誇ります。昨年の千葉国体においては成年男子、成年女子ともに優勝するという、いわば「バスケット王国」です。そのようなポテンシャルの高さがある中でいかにチケットを販売して行くかがポイントとなるわけですが、現在インターネット

などを駆使してマーケティング調査を徹底的に行っているところです。スポンサーについては、企業からの広告収入を期待するところですが、Jリーグやプロ野球と違いバスケットボールはまだマイナーなスポーツでテレビなどの露出も少ないので、企業の皆さんもその効果を測りかねているのが正直なところでしょう。我々は広告スポンサーを求める営業をする一方では、お互いに有益となる、所謂「WIN-WIN」の関係になれるスポンサーも多く取り入れています。一例を挙げますと、千葉商科大学さんですが、今年の4月より「千葉ジェッツ」という特別講座を設けていただきました。その目的は、11月に行われる千葉ジェッツの試合を千葉商科大学で開催予定とし、学生達にいかにか千葉ジェッツを認知させ、試合開催に向かっっていくかに観客を動員するか、どのようなエンターテインメントを仕掛けるかなどを勉強してもらうためです。

千葉ジェッツはプロバスケットボールチームですが、そこからすそ野を拡げて「千葉ジェッツエンターテインメント」を立ち上げる準備をしています。6月4日と11日にオーディションを行う予定ですが、大きくダンスチームとマーチングバンドの2つからなる組織で千葉県全体を盛り上げて行こう、千葉県のために何か役に立とうと考えています。

そのようなことを踏まえつつ、千葉ジェッツは「スポーツを通じて千葉県民の誇りや一体感を醸成し、地域社会に貢献する」ことを活動理念に、そしてミッションとして、

1. バスケットボールの競技レベルの向上
2. 健全な青少年の育成への貢献
3. 驚き、喜び、感動の提供による生き甲斐の創出
4. 地域貢献活動と郷土愛の育成

の4つを掲げています。非常に大上段なメッセージを掲げていますが、私自身は何が喜びかといえ、人が笑顔でいてくれたり、人に感動してもらえることが何よりも嬉しいのです。千葉県民620万人が笑顔になれば、私の喜びも620万倍になるということです。それを目指して頑張っています。

本日は貴重なお時間を拝借し、有難うございました。
(文責 瀬谷 研一会員)



第2313回例会

『職場訪問及び親睦旅行』

日時⇒ 平成23年5月29日(日)～30日(月)

行き先⇒ 伊香保

第2314回例会

日時⇒ 平成23年6月3日(金) 点鐘12:30

演題⇒ 『回顧録』

卓話者⇒ 大野 良亮会員